

設計から施工まで一貫対応 職人の常識を覆す精鋭部隊

一般住宅の新築・リノベーションや、店舗・オフィスの総合プロデュース、オーダー家具の製作など、幅広く事業を展開する Arrow product design (同)。多角的なサービスを可能にしているのは、在籍する職人全員がマルチスキルを持つという、独自のチーム編成だ。“頑固一徹”の職人イメージを根底から覆す同社の取り組みに、女優の宮地真緒さんが迫った。

10代から積み上げた経験を生かして

宮地 矢野社長は、すでに建設業界で20年以上のキャリアを築いてこられたそうですね。ぜひ、開業までの歩みをじっくりとお聞かせください。

矢野 私は幼少の頃から自立心が強く、中学卒業と同時に家を出て、地元の広島で大工として働き始めました。18歳からは定時制の高校に4年、さらに建築専門の夜間学校にも2年通い、その間は仕事と学業を両立させる忙しい日々を送っていましたね。朝5時から現場へ出て、夜7時から10時まで授業、その後には部活動のサッカーをして、午前12時過ぎに帰宅、というような生活でした。

宮地 それはかなりハードですね！でも、働きながらもしっかり青春を謳歌されている感じがして、素敵です。

矢野 実際、学校は本当に楽しくて、つらいとかキツイという感情はまったくなかったですね。当時弟子入りしていた親方も理解がある方で、「学校はきちんと卒業しなさい」と、どんなに忙しくても学業を優先させてくれたので、無事に卒業して建築士の資格を取れました。そうして、26歳の時には目標だった上京を実現して、ゼネコンに就職したんです。

宮地 技術的にも知識的にもしっかりと素地をつくられてから東京へ進出されたのですね。では、独立のきっかけはどのようにして訪れたのでしょうか？

矢野 もともと店舗の設計・施工に興味を持って就職したのですが、いざ働き始めてみると、規模の大きな会社の中では思っていた以上に「歯車の1つ」にしかたなく——特定のポイントでしか現場に携われないことに、もどかしさを感じるようになっていったんです。そして、「どうせなら設計や施工はもちろん、中の家具に至るまで一貫したサービスを提供したい」と考え、独立の準備を始めることにしました。その後は複数社を渡り歩きながらリノベーションや家具制作について学び、副業という形で個人事業主として実務経験も積み、2020年に満を持して会社を立ち上げた次第です。

すべてがオーダーメイドの施工

宮地 一点突破ではなくすべてをカバーしようと思われるところに、社長の理想の高さを感じます。現在は、思い描いた通りの事業展開ができていますか？

矢野 はい。当社では住宅の新築施工やリフォーム・リノベーション、さらに店

舗の内装工事全般を幅広く手がけており、現場のほぼすべての工程を自社で一貫して承らせていただいております。特に、店舗づくりにはかなり力を入れていて、お客様と一緒に物件を選定し、「この立地ならこういうお店が良さそうですね」といった感じで企画段階からプロデュースさせていただいているんです。宮地 そんなに早い段階からサポートしていただけるのは心強さがありますね。工事も、通常であれば水道やクロスなど場所ごとに業者さんへお願いしないといけないイメージがあるので、一手に引き受けてくださるのはありがたいです。

矢野 おっしゃる通り、本来の工事現場は分業制で、複数の業者さんが入れ替わりで施工するスケジュールになっています。しかし、そうすると例えば左官工事が必要になった時に、作業自体は2時間程度で終わるのに、料金的にはしっかり1人工分かってしまうということが往々にしてあるんです。その点、当社はすべての工程をお任せいただいたうえで、複数の工事をこなせる腕利きの職人たちが効率よく作業を進めていきますから、かかるコストをぐっと下げることができます。正直、料金面では他の業者さんに負けたことはないですよ。

Arrow product design 合同会社
Creator & CEO

矢野 功治

Profile

広島県出身。自立心が強く、中学を卒業すると同時に家を出て大工として働き始める。現場仕事で経験を積みつつ、18歳からは定時制の高校と建築系の専門学校に通い、建築士の資格を取得。活躍の場を広げるべく26歳で上京してゼネコンに就職するも、業務内容が細分化されている環境に疑問を覚えるように。その後は複数社を経て独立し、Arrow product design (同) を設立。企画、設計、施工のすべてを自社で行う理想のサービスを体現している。

sample

宮地 頼もしいお言葉です。とはいえ、高い技術が要求される職人さんの世界で、複数の工事をこなすというのは簡単なことではないと思います。そこまでできる原動力はどこにあるのでしょうか？

矢野 私は、お客様からご依頼をいただいたからには「ここはできません」とお断りしたくないんです。できることはすべてやって、お客様のご要望をかなえて差し上げたい。その一心で、創業から現在まで対応できる工種を少しずつ増やしてきました。また、私と志を共にしてくれる職人たちの存在も大きいですね。普通、職人というのは自分の仕事を頑固一徹にこなし、他の作業が発生することを嫌うのですが、当社の職人は私を含めて「あれもこれもやりたい」と好奇心を持って仕事に取り組む者ばかり。会社としても、彼らのモチベーションにはしっかり応えたいと思っているので、広々と作業ができるよう工房の数を増やしたり、保管庫をおしゃれに改造したりと、惜しみない出資を行っていますよ。

宮地 それだけ情熱を傾けて仕事をしていらっしゃると、1つの現場が完成した

ときの達成感も大きいでしょうね。

矢野 ええ、お客様からの感想もダイレクトにいただくことができますし、本当にやりがいのある仕事だと感じています。工事が終わった後も、携わらせていただいたお店には定期的に足を運ぶようにしており、近況をヒアリングしつつ「ここに新しい棚をつけましょうか、こういう家具をつくりましょうか」と追加でご提案させていただくこともあるんです。

になるという覚悟を持って仕事に臨んでおりますし、些細なことでも気軽にご連絡をしていただきたいと思います。

職人の地位向上に寄与する

宮地 ここまで社長のお話をうかがっていて、私の中にあった寡黙で頑固な職人さんのイメージが大きく覆されていくのを感じます。働き方に関してもスタイルリッシュさを追求されていますよね。

矢野 そこは意識的に取り組んでいるところで、私は事業を通して職人の社会的地位を向上させたいと考えています。と言うのも、今の職人は1日当たりの給料が固定されているケースが多く、どれだけ腕が良くても、あるいは短時間で多くの作業をこなしても、それがなかなか収入に反映されないんです。もともと過酷なイメージが先行しがちな業種なのに、収入まで安定しないととなると若い世代が敬遠するのは当たり前ですね。そこで、当社では仕事をしたぶんだけしっかり給料に還元する仕組みをつくるなど、職場環境の整備を進めています。

「YouTuberに憧れる若い子が
同じ感覚で職人に憧れる、
そんな世の中を実現したい」

宮地 アフターフォローも充実しているとは、本当に隙のないサービスですね。1から10までオーダーメイドの施工をしていただける工務店さんは、探そうと思ってもそう見つからないと思います。

矢野 ありがとうございます。どんな現場も、「つくってそれで終わり」ということには決してしませんので、お客様にはご安心いただきたいですね。特に、新築の物件に関しては一生涯のお付き合い

Focus on the topic
**美しい工房で生まれる
独創的なアイデアたち**

レストランや美容室、オフィスに至るまで業種を問わずあらゆる空間のデザイン・設計施工に強みを持つArrow product design(同)。内装全般はもちろんのこと、店内の家具・調度品も一貫して請け負い、空間全体をトータルプロデュースしてくれる。職人が作業をする工房もアトリエのような美しさで、独創的なアイデアが生み出されている。



宮地 それは素晴らしい。ものづくり自体の魅力は間違いなくありますから、安心して働ける環境と、自分のスキルに応じて収入を上げられる仕組みさえあれば、きっと若い世代の方たちも建設業に目を向けるといいます。

矢野 実は、当社で働いている職人の何人かは個人事業主でもあり、「溶接を覚えたいから」と技術習得を目標に入社してくれた者もいます。そうして手に職を付けていけば、建設業だけに限らずいろいろな場面でスキルを発揮するチャンスが来るといいますし、その一歩目として当社を選んでもらえたら理想的ですね。

いずれは、若い子たちが「YouTuberになりたい」と言うのと同じ感覚で「家具職人になりたい」と言う世の中を実現させたいと思っています。

アットホームな工務店を目指して

宮地 会社としてまだまだ成長していかれそうな勢いを感じます。将来のビジョンについてもぜひお聞かせください。

矢野 ありがたいことに、お客様から多くのご依頼をいただいております。今は半年先まで仕事の予定が詰まっている状況です。この先も確実な仕事でお客様との信

頼関係を築き、資本拡大をしていければと考えています。人材育成にも力を入れつつ、若い職人たちの独立支援もしたいですね。また、家具製作のノウハウを生かして、小物や手帳などを手がけることも検討しています。廃材を活用できれば余分なコストもかかりませんし、当社で定年を迎える職人が出てきたタイミングで、力仕事以外に任せられる事業を用意しておいてあげたいんです。

宮地 素敵な展望です。工房がものづくりの活気に満ちていると、お客さんも遊びに来たくなるかもしれませんね。

矢野 実際に、「自分でも手伝いたい」と工房まで足を運んでくださるお客様もいらっしゃいます。私たちとしては大歓迎ですし、一緒に珪藻土を塗ったり、手形を残したりしていただければと。今後はワークショップなども積極的に開催し、皆様から愛されるようなアットホームな工務店を目指してまいります！

Guest Comment>>

宮地 真緒 (女優)

「やってみたくてという好奇心だけでここまで走ってきました」と笑顔で語ってくださった矢野社長。お話の端々からも今のお仕事を心から楽しんでいらっしゃる様子が伝わってきて、聞いている私までワクワクしてしまいました。職人さんが働きやすくなるようにと、給料の仕組みを整えたり、使いやすさとおしゃれさを両立させた工房をつくったりと、人想いな一面もあり、コロナ禍の中でも業績を伸ばし続けられている秘訣を見た気がします。何でもつくれる強みを生かして、この先も飛躍してください！

sample

sample